

第11回〈ケア〉を考える会・岡山

この会は、2013年5月、〈ケア〉を考える有志が集まったのが始まりです。
第1回から第7回目までは、清水哲原著『最期まで自分らしく生きるために』を読みながら、ナラティブ、死生観、口から食べられなくなること、終末期医療、意思決定などについて考えてきました。
そして、第8回からは〈ケア〉現場からの報告を受けて〈ケア〉について考えています。
今回は、長く障害者支援の現場で働き、今は成年後見や権利擁護の分野でも活動している社会福祉士・河合清志さんの報告を聞いて話し合います。
みなさまのご参加をお待ちしています。

■日時：2014年8月24日(日)

14:00~16:00

■会場：川崎医療福祉大学 本館6階
6001 演習室 (定員 35名)

<http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/access/index.php>

※建物の1階(防災センター)から備え付けのスリッパに履き替えてお上がり下さい。

エレベーターで6階へ行きますと、降りた正面に案内標識があります。

駐車場を利用の場合は、福祉大学の職員・学生駐車場(病院とは道をはさんで反対側)をご利用ください。1時間100円です。

■会費：無料 となたでも参加できます。気軽にご参加ください。

■内容



話題提供 河合 清志 (社会福祉士)

「寄り添い」の障害者支援

～ ともに歳を重ねてきた障害者たち ～



■呼びかけ人

大賀由花 (赤磐医師会病院/透析療法指導看護師)

河合清志 (社会福祉士),

小林真美

清水昭雄 (管理栄養士)

田中順子 (川崎医療福祉大学リハビリテーション学科/作業療法士)

林道也 (社会福祉士)

平松邦夫 (社会福祉士)

松川絵里 (カフェフィロ代表/大阪大学 CSCD 特任研究員)

山本広美 (社会福祉士)

■参加申し込み・問い合わせ：884michiya@gmail.com 090-5366-1497 (林)

できれば事前にお申し込みください。(満席となりお断りする場合にのみ連絡いたします。)

■懇親会……終了後に、会場近くの居酒屋で懇親会を開きます(希望者)

※ ホームページもご覧ください ⇒ <http://okayama-care.jimdo.com/>

「〈ケア〉を考える会・岡山」とは……

▼岡山(倉敷)で、〈ケア〉について学び考える会を開催します。

〈ケア〉といえば、「看護」「介護」「支援」「世話」などが先ず頭に浮かびます。超高齢社会を生きる私たちにとって、切実な課題の一つです。そして、〈ケア〉は、もっと広く捉えることもできます。たとえば広井良典氏は、ケアを「人と人との間の『関係性』」という意味に理解してみたい」と述べ、さらに、個人がコミュニティや自然などとつながっていくような方向でもケアを考えます。「『ケアの哲学』とでもいうようなものが必要」とも言っています。

また、鷲田清一氏は「臨床哲学」の重要テーマの一つに「ケア論」を置き、「ケア」の奥深さをさまざまに説いています。

この会では〈ケア〉について、身近なところから理念的なものまで、そして、狭い意味から広い意味まで、幅広く深く考えていきます。

▼この会の参加者は、医療・看護・介護・福祉・教育などの現場、または地域や家庭などで〈ケア〉に関わっている方、大学や学校で〈ケア〉の教育・研究に携わる方や学んでいる方、さらに、その他、〈ケア〉に関心や関係のある方などです。

〈ケア〉に関わる人たちが学び交流することで、明日からの力を得る〈場〉となることを願います。

▼会では、本を読んだり、または、人の話を聞いたりして、語りあいます。

そして、会の後には、会場近くの居酒屋で懇親会を開きます(希望者)。

学び、語り合い、そして、食べ、飲み、さらに、語り合う。この会は参加者の「つながり」を大切にします。

